

1. 意見

長年の渡り世界の存環境破壊に於て、過去に
例を見ない大雨、強風、地震、異常気象が予想され、
1日7日早く、今迄に河川整備が必らず必要と
新国は以前提出した、及び又著し添付致す。

岩尾内ダムの恩恵について思う

天塩川の上流、士別市中士別に生を受けて56年余りになります。
私が2～3歳位の時のかすかな記憶に、水害で床上まで水が上がったことを覚えています。
子供なので家族みんなが2階で一緒に生活するのがとても楽しかった記憶があります。
子供の気持ちは時として、親にとって、なんと残酷なのでしょう。
昼は水びたし、トイレも水びたし、当然、昔のトイレですからその状態は想像できます。
そして何より、唯一の生活の糧である田畑の作物はすべて水没し、全滅です。
思えば、今は亡き父母がどんなに大変でつらい悲しい思いをした事かと、心が痛みます。

小学生の頃、大雨の翌日、天塩川の堰堤（頭首工）に遊びに行ったところ、その恐ろしい濁流のすごさに足がすくみ河岸に近づくことが出来ず、遠まきに眺めていたことが思い出されます。

父から聞かされた話では岩尾内ダムができる以前のことで、雨不足でひどい干ばつの年には水不足のため、水争いが原因で喧嘩も起き、用水路の取水口に夜間も見張りをして水田の水を確保した人もいたそうです。

やはり大自然の力の前には森林の保水力にも限界があるのでしょう。
そんな過去を考えると、現在、まさに岩尾内ダムは多様な利水と洪水調整を行い、その恩恵を士別市に限らず和寒、剣淵町など流域、そして道北一円にと、十分に発揮しています。
私たちは今一度、なくてはならない物となった、その効果を認識すべきでしょう。

私は、趣味で溪流釣りによく行きます。
もちろん、岩尾内ダムの上流にもダムができる以前から、よく釣りに行っています。
よく、ダムができるとサクラ鱒・岩魚等がいなくなってしまうと、ダムの建設を反対される方が居られると聞きます。

私の観察経過では、岩魚、オシロコマなどは岩尾内ダムができる以前より減りましたが、決してダム建設が原因ではありません。最近ではむしろ生息数が増加しています。サクラ鱒も以前とは姿、生態を変え、ダム湖を海の代わりとして生息数を増やしつつあります。

川には多くの支流がありそのすべてをダムにしない限りサクラ鱒が絶滅することはないはずで、ダムにより利水、制水を行いながら、自然林を残した支流を保全してゆく英知こそが、人と自然、野生動物にとってより良い環境を維持してゆくことになると思います。